



FLIPPER[®] Report

操作マニュアル

09 製-FL010052-07

第6版：2011年6月14日 製品バージョン：3.9.4以降

目次

第1章 はじめに.....	4
1.はじめに	5
1-1.FLIPPER Report とは.....	5
1-2. FLIPPER Report のご使用にあたって.....	5
2.動作環境	6
第2章 ご利用方法	7
3. FLIPPER Report を使用する前に	8
3-1.ログ送信の仕組み	8
3-2. FLIPPER Report を使用する為の設定を行う	9
<非同期タグの場合 ※推奨>	9
<ga.js の場合>.....	10
3-3.拡大・移動アクションのログ送信タイミングを変更する	10
4. FLIPPER Report 利用方法.....	12
4-1.FLIPPER Report の実行.....	12
ログイン.....	12
解析する FLIPPER を開く.....	12
4-2.FLIPPER Report の実行.....	14
4-3.ログ解析期間の変更.....	15
4-4.ヒートマップの基準色の変更.....	15
5. FLIPPER Report を使用せずにページビューを確認するには	16
6.索引	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.お問い合わせ	17

お問い合わせ窓口.....	17
8.更新履歴	18

第1章 はじめに

1.はじめに

1-1.FLIPPER Report とは

Google 社が無料で提供するアクセス解析サービスを利用して、FLIPPER3 の閲覧ログを取得・解析する事ができます。

これにより、ページ毎の閲覧者数、閲覧時間などの情報を取得し、マーケティング活動などに役立ててることができます。

FLIPPER Report は、各ページ内のどの部分が最も良く閲覧されているかを視覚的に捉えられるように、ヒートマップ型の表示方式でログ解析を行えます。

各ページ内において、拡大して閲覧された回数が多い部分ほど赤く表示され、閲覧回数が少なくなる程に、色が寒色になります。

広告チラシ、通販カタログ、商品パンフレットなどにおいて、どの商品に閲覧者の関心が集まっているかを視覚的に捉えやすくなります。

1-2. FLIPPER Report のご使用にあたって

注意事項等を下記に記載します。

- FLIPPER Report に対応したログを送信できるのは「FLIPPER3 Maker3.4.0」以降で作成したブックデータです。
- FLIPPER Report を使用するには Google のアカウントが必要です。
- トラッキングコードの「プロファイル番号」は 1 冊に対して、1 つの設定となります。同一プロファイル番号を複数冊で共有するとログデータが集計されてしまいますのでご注意ください。

2.動作環境

	Windows®	Macintosh®
OS	WindowsXP(32bit) Windows Vista(32bit) Windows 7(32bit) 日本語版	Mac OS X 10.4.11、 または Mac OS X 10.5.4、10.5.5、10.6
CPU	インテル® Pentium®III 1GHz クラス以上のプロセッサ、および512MB以上のRAMを搭載したパーソナルコンピュータ	インテルCore™Duo 1.83GHzクラス以上のプロセッサ、またはPowerPC® G4 1GHzクラス以上のプロセッサ 1GB以上のRAM
モニタ	1024×768、16ビット以上を表示可能なカラーモニタ	
環境	Adobe AIR 1.5以上のランタイム環境（FLIPPER Report インストール時にインストールされます）インターネット接続環境	

- ※ Google Analytics からデータの取得を行います。
- ※ ソフトウェア起動時にアップデート情報の確認を行います。
- ※ 最新プログラムがリリースされている場合は、弊社サーバーよりダウンロードを実行します。

第2章 ご利用方法

3. FLIPPER Report を使用する前に

3-1. ログ送信の仕組み

FLIPPER Report が使用するログは、FLIPPER 閲覧時に下記の操作を行ったときに送信されます。

- A. ページめくり
- B. 拡大操作（縮小操作時にはログは送信されません）
- C. 拡大表示時の移動操作

このうち、A については、アクション後にログが即時送信しますが、B および C については 3 秒間待ってから送信します。

3 秒以内に表示箇所が他の箇所へ移動した場合（A、B、C が行われた場合）はログが送信されません。これは 3 秒間その場にとどまったら閲覧者がその箇所を読んだと判断する為です。

この秒数はログを送信するブックの設定（「3.3 拡大・移動アクションのログ送信タイミングを変更する」）で変更できます。

3-2. FLIPPER Report を使用する為の設定を行う

<非同期タグの場合 ※推奨>

FLIPPER3 Maker 3.9.1より Maker 画面上にて UA 番号のみ設定頂くと、下記の設定が自動で行われます。

1. ブックデータフォルダの index.html をテキストエディタで開きます
2. </head>タグの直前に GoogleAnalytics から取得したトラッキングコードを貼り付けます

トラッキングコード例

```
<script type="text/javascript">
  var _gaq = _gaq || [];
  _gaq.push(['_setAccount', 'UA-xxxxxxx-xx']);
  _gaq.push(['_trackPageview']);

  (function() {
var ga = document.createElement('script'); ga.type = 'text/javascript'; ga.async = true;
ga.src = ('https:' == document.location.protocol ? 'https://ssl' : 'http://www') +
'.google-analytics.com/ga.js';
var s = document.getElementsByTagName('script')[0];
s.parentNode.insertBefore(ga, s);
  })();
</script>
</head>
```

3. index.html の</body>前に記述されている script 内の
so.addVariable("pageTracker","false"); の false を true に書き換え、
so.addVariable("pageTracker","true"); とします

4. </body>の直前に下記の Javascript コードを追記します。

```
<script type="text/javascript">
function sendFlipperHeatmapLog(c,a,l){
  _gaq.push(['_trackEvent', c,a,l]);
}
</script>
```

<ga.js の場合>

※google からは ga.js の案内がされなくなったため、今後サービスが停止する可能性があります。

1. ブックデータフォルダの index.html をテキストエディタで開きます
2. </body>タグの直前に、GoogleAnalytics から取得したトラッキングコードを貼り付けます

```
<script type="text/javascript">
var gaJsHost = (("https:" == document.location.protocol) ? "https://ssl." :
"http://www.");
document.write(unescape("%3Cscript src=" + gaJsHost +
"google-analytics.com/ga.js' type='text/javascript'%3E%3C/script%3E"));
</script>
<script type="text/javascript">
try {
var pageTracker = _gat._getTracker("UA-xxxxxx-xx");
pageTracker._trackPageview();
} catch(err) {}</script>
```

3. index.html の</body>前に記述されている script 内の
so.addVariable("pageTracker","false");の false を true に書き換え、
so.addVariable("pageTracker","true");と します

3-3. 拡大・移動アクションのログ送信タイミングを変更する

拡大や移動した後、例えば「10 秒以上表示されたらログを取る」といった詳細な設定をす

するためには、以下の追記をおこなってください。既定値は 3 秒になっています。

3.2.3 で書き換えた `so.addVariable("pageTracker","true");` の下に、
`so.addVariable("heatmapTimer","10");` を追記します。

記述例

```
<script type="text/javascript">↵
// <![CDATA[↵
  var so = new SWFObject('skin03b.swf', 'skin03b', '100%', '100%', '9.0.20', '#ffffff');↵
  so.useExpressInstall('swfobject/expressinstall.swf');↵
  so.addVariable("bookPath", "");↵
  so.addVariable("page", "1");↵
  so.addVariable("pageTracker", "true");↵
  so.addVariable("heatmapTimer", "10");↵
  so.addVariable("highlightwords", getDecodeHighlightwords(document.location.search));↵
  so.addParam('allowfullscreen', 'true');↵
  so.write('content');↵
// ]]>↵
</script>↵
```

※ "10" を任意の値に変更していただくことで、設定する秒数を変えられます。

4. FLIPPER Report 利用方法

4-1.FLIPPER Report の実行

デスクトップの  より、FLIPPER Report を起動してください。

ログイン



LOGOSWARE
FLIPPER Report

ID

パスワード

パスワードを保存する

ログイン

Google アカウント (I DID / PASSWORD パスワード) を入力して [ログイン] を押下してください。

※パスワードを保存するにチェックをすると、パスワードが保存され、次回以降入力が不要になります。

解析する FLIPPER を開く



FLIPPER Report - FLIPPERのURL入力

FLIPPER URL

履歴から選択	1ページ目の画像	ブック情報

FLIPPERを開く

"FLIPPER URL"に解析するブック (実際にログを送信している) の URL を入力し、

[FLIPPER を開く]を押下してください。

その後、FLIPPER が表示されたら、アクセスログ結果を確認できます。

※ 一度開いたブックは履歴に登録され、次回起動以降も利用可能です。

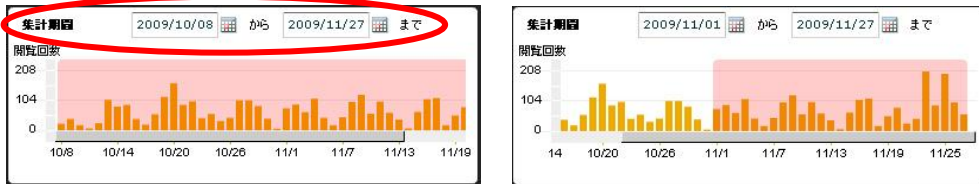
4-2.FLIPPER Report の実行



1. ヒートマップで拡大箇所が確認できます
2. 解析期間を設定できます
3. ページ毎の閲覧回数／拡大表示回数を確認できます
4. FLIPPER 設定画面に戻ります
5. ログイン画面に戻ります
6. 操作マニュアルを表示します

4-3.ログ解析期間の変更

最初に掲載期間分の全データを取得します。期間を変更して閲覧状況を確認するには、集計期間の変更を行ってください。



4-4.ヒートマップの基準色の変更

各ページで表示されるヒートマップの色の基準は、既定値では「ページ毎」の最大閲覧部分の回数を最大値の赤として表示しています。

[ヒートマップの基準]を[ブック全体]に切り替えると、ブック全体での最大閲覧部分の回数を最大値として、その相対色を表示します。

見たいページの棒グラフ上をクリックすると、そのページに移動します。



5. FLIPPER Report を使用せずにページビューを確認するには

1. GoogleAnalytics (Web) にログインする。
2. 設定されているプロフィールを開く。
3. [コンテンツ]-[イベントトラッキング]-[カテゴリ]-[FLIPPER3_PageView_1.0]をクリック
4. 表示された折れ線グラフを確認して下さい。

6.お問い合わせ

お問い合わせ窓口

ご購入後の製品に関してご不明な点は、以下お問い合わせ窓口までお問い合わせください。

製品名： FLIPPER Report

<http://soft.logosware.com/flipper-report/>

E-mail： support@logosware.com

TEL： 03-5818-8011

FAX： 03-5818-8012

受付時間： 10：00～17:00（土日、祝祭日は除く）

ロゴスウェア株式会社 <http://www.logosware.com>

【東京オフィス】〒110-0016 東京都台東区台東 4-13-21 TOWA SKY BLDG3F

7.更新履歴

第1版	2009年12月1日
第2版	2010年6月11日。非同期タグ設定方法追記
第3版	2011年4月27日。不足説明追記、動作環境 Win7 追加
第4版	2011年5月25日。設定方法の説明を見直し
第5版	2011年6月7日 「5 .FLIPPER Report を使用せずにページビューを確認するには」を追加
第6版	2011年6月14日 「3.2 FLIPPER Report を使用する為の設定を行う」 非同期タグの場合のみ、FLIPPER3 Maker 3.9.1 より画面上にて設定が可能になりました。
第7版	2012年1月27日 デザインの変更。